



絵本部会通信 4号

2017年5月15日

第38回国際幼児教育学会 於国立臺北教育大學 9月1日、2日開催

絵本部会企画シンポジウムのご案内

今大会の実行委員長翁麗芳先生は、日本へ留学なされた方で、いままでに複数の絵本部会会員と共同研究をしていらっしゃいます。絵本部会のこの企画へのご協力を打診しますと、即答で、シンポジウム登壇者を推薦してくださいました。

「これで国際学会にぴったりではないでしょうか」という人選の詳細は、プログラムの到着をぜひお待ちください。

シンポジウムのテーマは『絵本の可能性・・・普遍性と多様性に響感して・・・』です。

「台湾の多文化共生絵本」「香港の幼稚園の絵本活動」この二つを中国の先生がご担当。「臨床発達心理学を基盤とした絵本の読み合い遊びと子どもの育ち」

「人間関係を深め子どもの心を育てる絵本の内容とタイミング」が日本からの実践報告です。 シンポジウムの時間はわずか90分！

森羅万象と関わる絵本、人間の根源をも問い続ける絵本が、混迷するグローバル社会で育ちやがて社会を担う子どもたちにどのような可能性を提示できるのでしょうか。

今回の大会テーマ「多文化社会に於ける幼児教育・・・過去・現在・未来・・・」にも呼応して、日々子どもたちが親しむ絵本の可能性に希望を見出すシンポジウムになると期待します。 どうぞご参加ください。